

# 流域治水への転換

## 「流域治水」への転換

頻発化・激甚化する災害に備え、従来からの防災にかかる施設整備を加速化するとともに、施設の計画を超える気象現象に対し、ソフト・ハード両面での防災・減災対策を進めています。

県では、流域全体のあらゆる関係者が協働して行う治水対策である「流域治水」の取組みを実施しています。



(流域治水のイメージ図：国土交通省 HP より)

## 流域治水プロジェクトの策定・公表

県では流域治水の取組みとして、「流域治水プロジェクト」を策定・公表し、流域治水を計画的に推進する取組みを進めているところです。

令和4年3月には、大村市の郡川水系において、令和4年6月には佐世保市の早岐川水系において流域治水プロジェクトの策定・公表を行いました。今後も県内各流域で流域治水プロジェクトの策定を進めていきます。

**郡川水系流域治水プロジェクト**  
～郡川水系の治水対策・急激な水位上昇から自身を守る防災・減災対策～

○令和2年7月豪雨では、郡川水系において観測史上最大となる洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、ハード・ソフト両面で対策を進める必要がある。  
○計画規模の洪水を安全に流すために河川整備を推進するとともに、計画規模を超える洪水に対しては、ソフト対策により住民の適時適切な避難行動を促すほか、各種取組みの実施により、流域における浸水被害の軽減を図る。

**被害をできるだけ防ぐ、減らすための対策**

- ① 二級河川郡川の整備
- ② 二級河川佐奈河内川の整備
- ③ 運用河川野田川の河道掘削
- ④ 既存ダム等と既存施設の補強や有効活用
- ⑤ 下水道における対策
- ⑥ ため池の活用
- ⑦ 砂防ダムの整備
- ⑧ 保安林・長寿林の保水能力の機能向上
- ⑨ 治山施設等の整備

**被害対象を減少させるための対策**

- ① 立地適正化計画における防災指針の検討

**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ① 河川水位情報等の充実
- ② 関係機関と協力した防災教育の促進
- ③ 関係機関と協力した防災推進員（自主防災リーダー）の養成促進
- ④ 防災無線等を活用した防災情報の発信
- ⑤ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
- ⑥ 水害以上の高水未達区域の解消
- ⑦ 河川、土砂災害、ため池の「ゲートマップ」の作成・周知
- ⑧ まるごとまちごとハザードマップの取組みの調査・検討
- ⑨ 防災気象情報の普及啓発

大村市

**早岐川水系流域治水プロジェクト**  
～早岐川水系の治水対策・急激な水位上昇から自身を守る防災・減災対策～

○平成2年7月の大雨では、早岐川の洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、ハード・ソフト両面で対策を進める必要がある。  
○以下の取組みを実施していくことで、概ね100年に1度の確率で発生する規模の洪水を安全に流し、流域における浸水被害の軽減を図るとともに、併せてソフト対策を推進することで住民の適時適切な避難行動を促す。

**被害をできるだけ防ぐ、減らすための対策**

- ① 二級河川早岐川の整備
- ② 水源地活用の検討
- ③ 保安林・長寿林の保水能力の機能向上
- ④ 治山施設等の整備

**被害対象を減少させるための対策**

- ① 立地適正化計画の検討
- ② 市街地調整区域における開発許可の厳格化の検討

**被害の軽減、早期復旧・復興のための対策**

- ① 危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの設置
- ② 関係機関と協力した防災教育の促進
- ③ 関係機関と協力した防災推進員（自主防災リーダー）の養成促進
- ④ 住民に対する防災意識の普及啓発
- ⑤ 防災無線等を活用した防災情報の発信
- ⑥ 要配慮者利用施設の避難確保計画作成・訓練実施の促進
- ⑦ 洪水、土砂災害の「ゲートマップ」の作成・周知
- ⑧ 防災気象情報の普及啓発

佐世保市

(郡川水系流域治水プロジェクト)

ソフト・ハード含めた19の取組みを盛り込む。

(早岐川水系流域治水プロジェクト)

ソフト・ハード含めた14の取組みを盛り込む。